

市報

とす

今号の内容

CONTENTS

市報アンケート調査結果	2
◆	
市政功労者28個人1団体を表彰	4
5月25日(日)は花の日	//
保健センターで健康大学を開講	5
小鳩園新園舎が完成	6
春の芸能祭・浅香光代さんの記念講演も	10
市立図書館にニューメディアコーナー新設	12



1日警察官らが新入生をお出迎え

鳥栖小学校で入学式の4月9日、鳥栖警察署から一日交通課長と一日交通巡視員に任命された児童2人を含む6年生35人が新入生を校舎入り口でお出迎え。式典では一日警察官の2人が「交通安全5つの約束」を読み上げ、登下校時の注意を呼びかけました。

5

平成9年 № 829

1日号

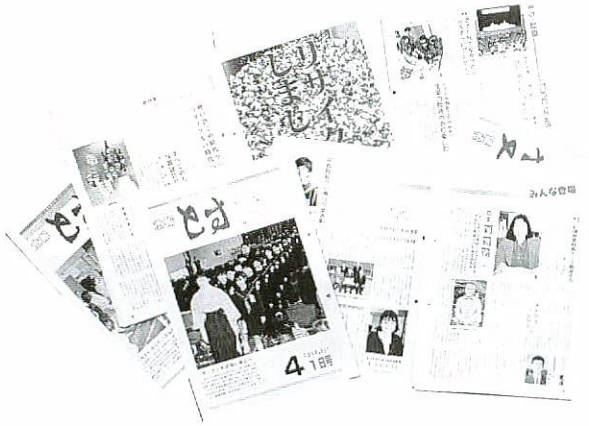
もつと身近な情報を

「市報とす」アンケート調査結果から

現在、毎月二回発行している「市報とす」は、市制施行間もない昭和二十九年八月十五日、公民館報「鳥栖公民」として第一号を発行して以来、五月一日号で八百二十九号を迎えます。

「市報とす」は市の行政情報を市民へ知らせる広報紙として、重要な役割を担っています。この役割を十分に果たすためには、市民に広く読んでいただくかなければなりません。今回、市報が「どれだけ読まれているのか」「市民生活に役立っているのか」また、「読者である市民はどのような情報を求めているのか」など、読者である市民のニーズを知り、今後の広報紙づくりに生かすため、十八歳以上の市民を対象にアンケート調査をしました。

五百七十五通を発送、回答は百八十二通で回収率は三二・六％。回答のあった百八十二通について分析をしました。



アンケート調査の方法

アンケート調査は今年一月二十二日から二月十四日にかけて、十八歳以上の市民五百七十五人を対象に実施しました。

調査対象者（アンケート用紙の発送先）五百七十五人は市民五万七千三百人の約一％を目安にしたものです。この対象者は住民基本台帳から無作為抽出しましたが、性別、年齢に片寄りが無いよう考慮、調査用紙は往復はがきを使用

しました。

質問は年齢、性別、職業のほか①あなたは「市報とす」を読んでいますか②「市報とす」ではどの欄に関心がありますか③「市報とす」を親しみやすくするためには、どのようにしたらよいと思いますか④どのような記事を充実させたらよいと思いますか―の四項目で、回答は五〜六の選択肢から複数選んでもらうようにしました。また、市報への提言や要望も尋ねました。

若い世代には読まれていない

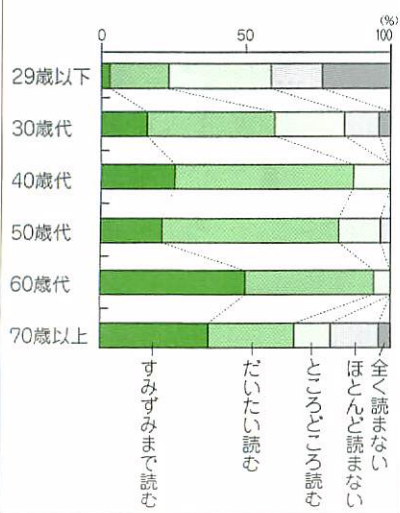
市報は主に各町区の嘱託員を通じて、毎月二回、一日号と十五日号を各家庭に届けています。一日号は募集や催しなどのお知らせ記事のほか、福祉や保健などテーマを絞った特集や市内であった出来事

さまざまな分野で活躍する市民を紹介した欄などを設けています。一方、十五日号はお知らせ記事を中心に、ページ数も少なくなっています。まず、「市報とす」は市民にどの程度読まれているのかを尋ねました。

全体で見ると「すみずみまで読む」は25%。「だいたい読む」まで入ると68%で、市民には広報紙としておおむね浸透しているようです。

しかし、これを年齢別にみると「すみずみまで読む」が「だいたい読む」を合わせた、五十歳代以上では83%。これに対し、二十九歳以下は24%で、若い人ほど読んでいないようです。市報には「お知らせ」など、年齢が増すにつれて読む必要が出てくる記事もありますが、もつと若い世代に受け入れられる工夫が必要だと感じます。

「市報とす」はどの程度読まれているか

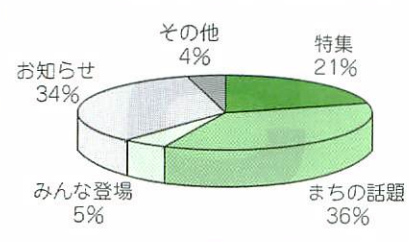


よく読まれる身近な情報

市報の読者は老若男女すべての市民です。そのため、市報にはさまざまな記事を掲載していますが、どのような記事が関心を持って読まれているのでしょうか。

全体では「特集」21%、「まちの話題」36%、「お知らせ」34%でした。「まちの話題」や「お知らせ」など、市民に身近で直接必要な情報はよく読まれているようです。年齢別や性別でも大体同じような傾向がみられます。

市報のどの欄に関心があるか

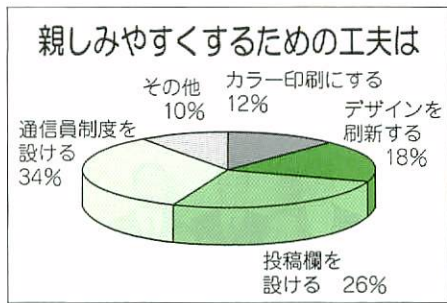


作品発表の場、通信員制度を

市報を市民に、より一層読んでもらうための工夫として

は「読者の投稿欄を設ける」が26%、「身近な情報を提供する通信員制度を設ける」が34%でした。

「存じのように、現在は読者の投稿欄は設けておらず、通信員制度なども設けていません。現在は赤ちゃんの写真を掲載する「パパ撮って」を掲載し、大変好評です。市報



質問と回答

◆あなたは「市報とす」を読んでいますか。

(数字は%)

すみずみまで読む	25
だいたい読む	43
ところどころ読む	18
ほとんど読まない	8
全く読まない	6

◆「市報とす」ではどの欄に関心がありますか

身近な情報を提供する通信員	26
書、写真、短歌など	18
デザインを刷新する	12
写真や図版を多くしたり、カラー印刷にする	10
投稿欄を設ける(絵、書、写真、短歌など)	7
鳥栖市の歴史、自然などに関する情報	4
その他	4

まちの話	36
みんな登場	5
お知らせ(ホットライン)	34
その他	4

◆「市報とす」を親しみやすくするために、どのようにしたらよいと思いますか。

投稿欄を設ける(絵、書、写真、短歌など)	26
デザインを刷新する	18
写真や図版を多くしたり、カラー印刷にする	12
写真や図版を多くしたり、カラー印刷にする	10
投稿欄を設ける(絵、書、写真、短歌など)	7
鳥栖市の歴史、自然などに関する情報	4
その他	4

員制度を設ける	34
その他	10

◆どのような記事を充実させたらよいと思いますか。

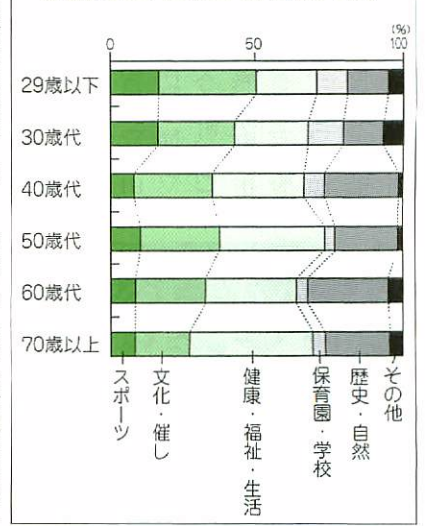
文化・催しなどの情報	26
健康・福祉・生活などの情報	21
保育園・学校行事などの情報	11
スポーツ情報	7
鳥栖市の歴史、自然などに関する情報	4
その他	4

は市からの一方通行だけでなく、みなさんの作品などを掲載することで、身近に感じてもらえるようです。このように市民の投稿欄や、地域のより身近な出来事を提供してもらって通信員制度など、市民に密着した情報を提供する必要があるようです。

年代で異なる求める情報

広報紙は、行政と市民を結ぶ情報伝達手段の大きな柱です。少しでも多くの方に読んでほしいと思います。関心のある事柄や求める情報は人によってさまざまです。今後充実させる記事の内容では、多いものから「健康・福祉・生活」31%、「文化・催し」26%、「鳥栖市の歴史・自然」21%、「スポーツ」11%、「保育園・学校」7%でした。これを年齢別に見ると、二十九歳以下では「文化・催し」34%、「健康・福祉・生活」20%、「スポーツ」17%で、文化・スポーツ面に関心が高く、五十歳以上では「健康・福祉・生活」が36%を占めるなど、健康や福祉に関する記事を望む

どのような記事を充実させたらよいか



提言・要望から

「市報とす」への提言、要望をいただいた中から、主なものを紹介します。
 ●市が展開していることや今後展開することを(24歳・女)ほか
 ●市の行政への質問コーナーを(46歳・女)
 ●地域の明るいニュースや行事などをもっと多く(78歳・男)
 ●我が家の自慢料理やアイデア料理を(18歳・女)
 ●市立図書館の新書紹介を(19歳・女)
 ●市内の町おこしの話題を(54歳・女)
 ●流行している商品の紹介など若者がよく読む記事を(18歳・女)
 ●地元出身の芸術家などの紹介を(66歳・女)
 ●税金などの説明をわかりやすく(60歳・男)
 ●文化サークルなどの紹介を(43歳・女)ほか
 ●サッカーに関する記事を(44歳・男)ほか
 ●鳥栖市の歴史を(60歳・女)
 このほか、多くの要望が寄せられました。ありがとうございました。

また、「議会の質問などを載せてほしい」という要望もありましたが、議会に関しては二、五、八、十一月の年四回「とす市議会だより」が発行されていますので、そちらをご覧ください。
 市報に掲載する記事は、特定の階層を対象にしたものではないため、全ての市民を満足させることはできません。紙面や労力などの点でも限界があります。しかし、市報は行政と市民をつなぐ重要な「架け橋」です。今後は、多くの市民にもっと関心を持って読んでいただくため、今回のアンケート調査結果を参考に、できることから紙面づくりに生かしていきたいと考えています。

アンケート結果を生かします

今回のアンケート調査で、より身近な出来事や自身に直接かかわる情報が市報に求められています。

市報縮刷版Ⅰ・Ⅱ販売中

第一号から第七十九号まで(昭和二十九年八月から同四十五年三月まで)を収録した市報とす(縮刷版Ⅰ)と、第八十号から第四百九十一号まで(昭和四十五年四月から同五十八年四月まで)を収録した市報とす(縮刷版Ⅱ)のいずれも企画課広報統計係で販売しています。
 価格は(縮刷版Ⅰ)が四千六百円、(縮刷版Ⅱ)が四千八百四十円です。一家に一冊この機会にお求めください。

市政功労者28人1団体を表彰



被表彰者のみなさん

平成九年の市政功労者表彰式が四月一日、サンメッセ鳥栖で行われ、市政運営や文化振興、民生の安定など八分野で献身的な努力をされ、功績が顕著な二十八人と一団体を表彰しました。

式では、山下市長が一人ひとりに表彰状と記念品を贈って功績をたたえ、その労をねぎらいました。

被表彰者は、次のみなさんです（敬称略）。

- 【市政の運営に貢献】平塚元（64歳、宿町、市議会議員）▽宮原久（58歳、神辺町、同）▽酒見敏生（64歳、前田町、市嘱託員）
- 【教育、学術、技芸、体育など文化の振興に貢献】江口節（70歳、鎗田町、市文化連盟役員）▽神代和子（70歳、桜町、同）▽平川芳亨（63歳、宿町、市体育指導委員）▽陶山利徳（53歳、幸津町、同）▽中村直人（46歳、今泉町、同）▽酒井幸孝（64歳、原町、市少年野球連盟副会長）▽平野秀喜（60歳、元町、同）▽江頭昭敏（59歳、曾根崎町、同監事）▽古庄康伸（59歳、原古

賀町、同理事）

【産業の開発振興に貢献】

- 阿部登（70歳、曾根崎町、商工会議所議員）▽兼行、一夫 63歳、本鳥栖町、同）▽水田哲夫（57歳、本町、同）▽池田久男（60歳、宿町、同事務局員）▽佐藤定雄（88歳、田代新町、市森林組合理事）▽岩橋治平（58歳、田代外町、生産組合長）

【民生の安定に貢献】宇木秀（79歳、蔵上町、保護司）▽古川四郎（74歳、曾根崎町、民生委員・児童委員）

【納税等に貢献】草野トミヨ（86歳、桜町、納税組合長）

- ▽名和長昇（78歳、桜町、同）▽藤田英雄（73歳、袖比町、同）▽中村實（64歳、姬方町、同）▽四ヶ所十郎（49歳、下野町、同）

【治安の維持、人命救助、水災等の防護に貢献】天本悟（47歳、河内町、市消防団員）

【運輸交通に貢献】宮原喜久雄（50歳、姫方町、市交通安全指導員）

【奇特な行為があり、又は篤行にして市民の模範とするにたる者】岩橋ヨシ子（71歳、大正町）▽原古賀町子どもクラブ（会長・片田武）

5月25日は花の日 花いっぱい催しに参加

第九回「花の日」行事を五月二十五日（日）午前十時から午後一時まで、市役所前広場と市役所市民ホールで開きます。

当日は、文字などをかたどった花模様圖案や鳥栖市緑化協力会による「立体式アート&デザイン」などで会場を花いっぱいになります。

学生から募集した花の絵コンクールと花壇コンクールの入賞者を表彰したあと、花のスケッチ大会、フラワーオブジエ、フラワーアレンジメント（人数に限りがあります）、市民の出品による花の写真展やさつき展を開催。また、子どもも楽しめるビンゴゲームでは多数の商品を用意していま



毎年好評の花のスケッチ大会

花のスケッチ大会参加ご希望の方は、当日会場で申し込んでください（画用紙は準備します）。参加者には素敵な商品がプレゼントします。

毎回好評の約一万本の菊苗（鳥栖菊花会提供）と約二千本の花苗、約千袋の草花種子の無料配布を午前十時半と正午の二回行います。また、菊花会では午前十時から市役所北別館二階で菊づくり無料講習会を開きます。

なお、花の絵、花壇両コンクール入賞作品の展示と、花の回廊づくり事業写真展を五月二十六日から同三十日まで、花の写真展、花のスケッチ大会作品展示を六月二日から同九日まで市役所市民コーナーで行います。

花いっぱいの催しにご家族そろっておいでください。

5月11日(日)

第9回「鳥の日」行事

第九回「鳥の日」行事を五月十一日(日)中央公民館とその周辺で開きます。

道コンクールと愛鳥週間ポスターコンクール入賞者を表彰します。

午前九時半から中央公民館三階で行う式典では、小中学生から募集した「鳥の日」書

また、市民プール北側の芝生広場では園児と児童を対象に親子で挑戦する鳥の巣箱づくり



親子で挑戦する鳥の巣箱づくり

交通安全指導員を委嘱



依 武夫さん

交通安全指導員(麓地区)の委嘱について、四月一日付で依武夫さん(64歳、山都町)に委嘱状を交付しました。

交通安全指導員は市内六地区で五十八人(定員は六十人)が市から委嘱を受け、園児や児童の登校時の街頭指導や交

通安全教室への協力など、市民への交通安全思想の普及、交通事故防止のため活動しています。

嘱託員の交代

四月一日付で嘱託員の交代がありました。新嘱託員は次のとおり(敬称略)。

- ▽袖比町―江崎富利(☎6062)
- ▽古賀町―松田繁光(☎33821)
- ▽酒井西町―福田光行(☎9358)
- ▽養父町―戸渡貞雄(☎8952)
- ▽原古賀町―江副功(☎7883)
- ▽江島町―村田平雄(☎33773)

くりを行います。巣箱づくりに参加を希望する方は、かなづちを持って午前十時までにおいでください。

なお、書道とポスターの入賞作品は五月十日から同十六日までの愛鳥週間で、市立図書館一階ホールに展示。市役所市民ホールでも同期間中、市内で見られる野鳥の写真約三十点を展示しますので、ご覧ください。

詳しくは農林課林務畜産係(☎3564)へ。

麻しん(はしか)予防接種

問い合わせ: すこやかセンター(保健センター☎3650)へ

麻しん(はしか)予防接種を次の要領で実施します。

- ◎対象=1歳以上3歳未満の幼児
- ◎実施期間=6月2日(月)~同30日(月)
- ◎接種料金=無料
- ◎申し込み=5月24日(火)までに直接、下記の医療機関へお申し込みください
- ◎注意=①すでに、はしかにかかったことがある人と麻しん(はしか)の予防接種が済んでいる人は受けられません ②人によっては、接種後1週間ぐらいで発熱、発しんといった麻しん症状が出る場合があります

医療機関	所在地	電話	実施曜日	実施時間
有吉医院	宿町	☎3526	月～金曜日	14:00~16:00
石田医院	古賀町	☎2722		15:00~17:00
野下医院	曾根崎町	☎2082		14:00~17:00
今村病院	轟木町	☎5550		14:30~16:30
権藤医院	田代上町	☎2978		9:00~12:00 16:00~18:00
前山医院	宿町	☎0005		14:00~15:00
武田内科	村田町	☎1011		
すがい小児科	神辺町	☎7020	月曜日	13:00~16:00
古賀内科医院	宿町	☎3204	月～金曜日	9:00~12:00
宮崎医院	東町	☎2083	水・金曜日	15:00~17:00
すぎやま内科胃腸科	神辺町	☎7785	火曜日	15:00~16:00
ひよし小児科	宿町	☎2677	火・木曜日	13:00~14:00
古賀医院	原古賀町	☎3457	水曜日	14:00~15:30
玄々堂内科	曾根崎町	☎2151	月・火・水・金曜日	15:30~17:00
斎藤内科医院	東町	☎2016	火・水・木曜日	10:00~12:00 14:00~16:00
高尾医院	京町	☎2328	火・水・木・金曜日	14:00~16:00
三輪堂医院	元町	☎2281	火曜日	14:00~15~00
小児科村上医院	古野町	☎2450		

保健センター健康大学を開講

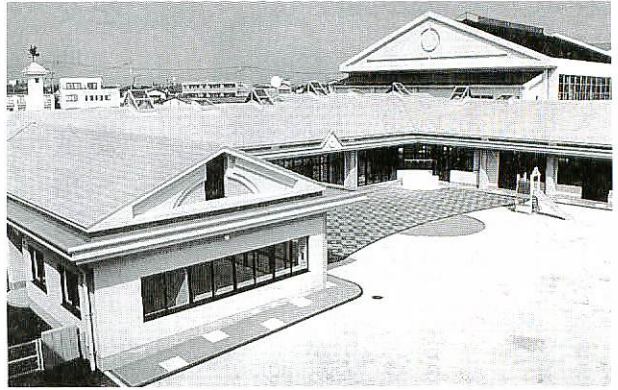
保健センターでは、健康について年間を通して楽しく勉強する「健康大学」を開きます。

医師や栄養士、薬剤士などを講師に迎え、病気をはじめ、食事や運動などの面から、健康について考えます。詳しい日程は次のとおりです。

参加資格は年齢を問わず、だれでも参加できますが、年間を通して参加できる方、定員六十人。申し込みは保健センター(☎3650)へ。

とき	テーマ	担当
5月23日(金)	ヘルスチェック、開講式	保健婦
6月24日(水)	80歳で20本(歯の話)	医師
7月15日(水)	健康食	栄養士
8月4日(月)	ニコニコエクササイズ	運動指導者
" 28日(水)	薬の飲み方について	薬剤士
10月3日(金)	上手なお酒の飲み方	医師、栄養士
" 22日(水)	更年期について	医師
11月20日(水)	泌尿器科の話	医師
12月15日(月)	閉講式、健康座談会	栄養士

※時間=13時半~15時(最終日のみ10時~13時)



床暖房やトップライトを採用し快適な室内空間を創造

小鳩園新園舎が完成 新たに一時的保育事業も開始

老朽化のため昨年九月から建設を進めていた市立保育所小鳩園の落成式が三月二十六日、鳥栖北小学校西側の新園舎で山下乡長はじめ関係者約八十人が出席して行われました。新園舎は、敷地面積約二千

八百五十平方メートル、鉄筋コンクリート造り平家建てで、延べ床面積約八百六十平方メートル。0歳児用の乳児室や一、二歳児用のほふく室、三〜五歳児用の保育室のほか、遊戯室、調理室、相談室などを備えています。保育室全室には床暖房とトップライト（天井窓）を採用したほか、室内床はヒノキ、廊下にスギを使用し、自然光や木のぬくもりを生かした快適な室内空間を創造。吹きさらしだった廊下と中庭の間をサッシで仕切り、配膳時の衛生面や夜間の防犯面に考慮しています。定員は百五人でこれまでと変わりませんが、保育ニーズの低年齢化に対応するため、0歳児保育を五人から九人に拡充。また、一時保育室を新設し、保護者の病気やパート就労などにより一時的にお子さんをお預かる「一時的保育事業」を県内の公立保育所で初めて導入しました。

新園舎は、本町の国鉄清算事業団用地を取得して建設。隣接する高齢者福祉施設のお年寄りとの交流が容易で、世代間交流のモデル的役割も期待されています。

ヤマメの稚魚1万匹を放流

ふるさとの清流をとりもどそうと、立石町の山女魚会と河内町の河内やまびこ会、牛原町の筑紫会の三団体約五十人が四月十三日、ヤマメの稚魚約一万匹を放流しました。放流したのは、河内ダム上流の大木川、四阿屋上流で安

良川支流の河内川、御手洗の滝付近の沼川の三河川。十年ほど前から放流している立石町の山女魚会（古賀平次郎会長、会員十六人）では御手洗の滝の滝つぼから駐車場付近まで、会員が手分けして稚魚約二千匹を放流しました。稚魚は生後六か月、体長

約十センチ。生後一年で二十センチほどに成長します。古賀会長は「昨年の秋口に立石町の沼川で体長二十五センチから三十センチのヤマメを見かけました。ここでは禁漁期間はないが、モラルとして十三センチ以下のものは再放流してほしいですね」と話しています。



御手洗の滝付近に放流する山女魚会の会員

神辺町獅子舞

雌雄の獅子が勇壮に演舞

三年に一度行われている神辺町獅子舞が四月十三日、神辺町の老松宮などで公開されました。獅子舞は、小学一年生四人

による「獅子つり」の言い立てで始まり、雌雄の獅子が鉦や太鼓の伴奏に合わせて、それぞれ勇壮な舞を披露。二頭の獅子が同時に舞い始めると

なつかしい伝統行事をビデオやカメラに収める姿も多く見られ、獅子が舞い終わると色紙で作られた獅子の「髪」を抜いて無病息災を祈願する人も。舞はこの後、町内の二か

所でも披露されました。神辺町獅子舞は土地の悪霊払いや無病息災、豊作祈願として元禄九年（一六九六年）に始まったとされ、戦後一時中断しましたが、昭和四十一年に復活。現在は三年に一度、四月の第二日曜日に公開されています。

鉦や太鼓の伴奏に合わせて舞を披露



蔵上遺跡と内精遺跡

説明会に考古学ファンら150人

市教育委員会が行った蔵上遺跡(四区)と蔵上・内精遺跡発掘調査の現地説明会が三月二十二日、蔵上町の現地で行われました。説明会は午前・午後の二回に分けて行われ、合わせて約百五十人の考古学ファンらが参加、同教委職員の説明に熱心に耳を傾けていました。

―十世紀)の遺構が重複した複合遺跡で、昨年二月から川久保線沿いの蔵上バス停北側の約一万二千平方メートルを調査。堅穴住居跡十軒と土器棺墓(甕棺墓)三十三基、土坑二基の遺構のほか約二万点の遺物も出土しました。

これだけの大規模な縄文時代の住居跡や墓地がまとまって見つかったのは北部九州では珍しく、出土品の中には石棒や十字型石製品・土製品、糸巻き型石器など、祭などに使われたと思われるものが含まれています。

また、奈良時代―平安時代(千二百年前)の掘立柱高床式倉庫群も見つかり、市教委ではこれらが養父郡衙(郡役所)の正倉(年貢米などを納めた倉庫)の一部である可能性もあるとみて、今後周辺を詳しく調査する予定です。

遺跡を前に職員の説明を熱心に聞く参加者



消防署が2台目の高規格救急車を導入

4WD車で災害時にも威力を発揮



鳥栖・三養基地区消防事務組合では、高度な救命処置をするための医療器材を備えた高規格救急車(災害対応特殊救急自動車)を四月から二台に増やしました。

高規格救急車は、電気ショックを与えて心臓を蘇生させる除細動器をはじめ、心電図電送装置、気道確保装置などの医療機器や自動車電話、フアックスを搭載。救命救急士の資格を持った救急隊員が患者を搬送中、病院の医師から電話で指示を受けながら、救命処置ができるようになっていきます。一昨年に一台を導入

し、市内を中心に使用していましたが、救命救急士の資格取得者も増えたことなどから今回もう一台購入したものです。今回導入した車両は鳥栖消防署に配備。四輪駆動車(4WD車)で特に悪路や災害時

の救急業務では大きな力になると期待されています。医療器材などを含めた購入費は三千四百七十四万二千円。また、これまで使用していたものは北茂安町の西消防署に配備されています。

行政・住民合同で道路点検

行政と住民が一体となった取り組みを通じて、交通安全の確保を目指す「交通安全総点検」が四月十五日、市内の主要幹線道路で行われました。同点検には、県や市の職員

のほか、警察や交通安全対策協議会、交通安全協会、老人クラブ連絡協議会、身体障害者福祉協会などの代表約四十人が参加。元町の交通安全教育センターを出発した参加者

は、中心商店街や国道沿いの歩道など三コースに分かれ、地図と指摘箇所などを記入する調査票を手にとって、歩道の状況などを実際に自分の足と目で点検しました。

その中で、店の看板や駐輪する自転車のはみ出しによる歩きにくさ、歩道と車道との段差やマンホール部分のくぼみによる通行時の危険性など



歩道を実際歩いて点検する参加者

みんな登場

マジックで夢を与える

杉岡 浩さん(64歳、原町)



「観客と同じ気持ちになって演じないと、感動してくれませんね」
七年前、今も務める交通安全全指導員の研修旅行で泊まっ

た嬉野のホテルで見たマジックに興味を持ち、自分でしてみようと思いいちました。練習を始めてから一年半後の平成三年九月、基里老人セ

ンターの敬老会で初演。今では年に数回、市内五か所の保育園を訪問しマジックを交えながら園児に童話を話しています。町の敬老会や近隣の老人ホームから声がかかった時は、三人のマジシャン仲間と慰問。

「本番前の数日間は練習しますが、日ごろは特にしません。手や指の訓練を兼ねて、折り紙の鳩を毎日二十個ほど、できるだけ手早く作っています」

マジックは一ステージ約八分。その間十二、三のネタを披露します。

あんひと こんひと

⑤⑦ だけ手早く作っています

新しいネタに挑戦する時は鏡の前で練習を重ね、ある程度になると家族で腕だめし。人前で演じるまでには半月から二年ほどかかると言います。「プロのマジシャンは教えてくれません。ほとんどは本を読んでの独学。レポートリ

「自分がマジックを楽しんでいきます。依頼があればどこへでも出かけます。みんなに喜んでもらえるし、できる限り続けたいですね」



④ 議会事務局

熊田 吉孝

市役所 三まぶ

議会事務局は、年四回開かれる定例会や必要に応じて招集される臨時会の本会議や委員会の運営に関する事務が大きな仕事です。

ほかにも市民ホールへのテレビ中継や本会議の内容を紹介した市議会だよりの発行の手伝いなど議会がその機能を十分発揮できるように、幅広い事務を行っています。



農業機械の点検に追われる職員のみなさん

農業

新時代

<72>

「農業機械の故障に素早く対応。上場農協からの応援も」

設立から二十一年目を迎える鳥栖基山農協農業事業所(布津原町)では、七人の職員でコンバイン、トラクター、田植え機など農業機械全般の販売、修理、点検をしています。

「農業機械の故障は、田植

えや収穫の真つ最中が多いですね。農作業の再開を急ぐ農家から修理依頼が殺到する中で、それぞれの依頼に素早く対応しなければなりません」と所長の高尾勝美さん。農繁期の故障を減らすため、草刈

り機や動力噴霧機の無料点検会を毎年、四月に実施しています。

「最近の機械はエンジンの故障がほとんど無くなり、以前に比べると大がかりな修理は少なくなりました。どこが悪いのかさえわかれば、ほとんどは部品の交換だけで済みます。見込み通りに機械が動いた時は、何とも言えない満足感があります」

鳥栖は交通の便が良く、商工団地には機械の間屋も多いので、部品の入手には好都合。県経済連からの部品の配達も一日二回で、朝方に注文すれば午後には修理が終わります。「作期の異なる上場農協(東松浦郡)とは、互いの農繁期に技術員を相互に派遣し、急ぎの修理依頼に素早く対応できる体制を整えています。農家が必要な時にすぐ駆けつけることが一番のサービスですね」

「サクラサクラ」

今年には桜の開花時に雨が多く、昨年より比べいわゆる桜の花の命が短かった。しかし、幸いにして私はある夜、わが家の桜の花越しに満月がのぼり、踵を返して仰いだ北西の空にヘール・ポップすい星を見る事ができた。満月とすい星と夜桜の組合せは、恐らく二度と見ることはできないであろうし、すばらしい夜を持つことができたと感じて

いる。桜といえは現在鳥栖北小学校の正門前にある二本の桜、残念ながら一本は枯れて今年に残った一本に地味な花がいつぱいいついているのを見たが、実はこの桜の木は、奈良県吉野山小学校から贈られて来た種子から育ったものなのである。

吉野山小学校の児童会は、吉野のヤマザクラを全国でふやめ希望者に分けていた。それを小学生新聞で知った鳥栖北小五年四組一同（発案者緒方智恵子さん）がハガキで申し込み、飯粒大の種子が北小宛に送られて来たのが事のはじまり。しかし当時「サクラをタネから育てたという例はあまりない」ということで、発

芽の方法はよく解らなかつた。そこで北小の山下定實教頭が九千部山中腹の私有林に穴を掘り、紙箱に入れた種子を埋め越冬させた。翌年三月に掘出し自宅の菜園に移して育て無事ヤマザクラの苗木が誕生、昭和四十七年の開校十五周年に記念植樹、校門前の桜はそのヤマザクラなのである。

吉野山小学校の児童数は、その頃八十一人といわれたが、いまどうなっているのか。うか。また「全国へ長い間種子を送ったがこんなに嬉しい便りはめつたにない」と、鳥栖からの知らせに喜んで貰った吉野山小の久保田正孝教頭や、その時六年四組になっていた緒方智恵子さん達のお話を一本の桜が知っていた。来年の桜の季節までにはよく調べて知らせたいと私はいま思っている。（山下

三十四チームが参加して三月十六日から開かれた鳥栖市少年野球連盟第四十四回春季大会は同二十三日、市役所グラウンドで準決勝、決勝が行なわれ、今泉町チームが創部二十四年目で初優勝を飾りました。

決勝戦は、準決勝で藤木町を10-7で下した原古賀町と曾根崎町を4-2で破った今泉町が対戦。



堅い守りで初優勝した今泉町チーム

Viva! ビバスポーツ 69

少年野球春季大会

今泉町が初優勝

二回裏、今泉町は一死後、四球で出塁した久保山君が二盗、三盗、次打者・伊藤君の中飛で三塁走者がタッチアップ、一点を先取しました。その後、中盤まで両チームのエースが踏ん張り、息詰まる投手戦で迎えた六回表、原古賀町は三連続安打で無死満塁のチャンス。しかし、今泉町は久保山一平松のバッテリが強く打者を三振などで無得点に抑えて1-0で逃げきり、優勝を決めました。初優勝した今泉町

の松隈保雄監督（48歳）は「決勝戦ではエラーや四球がなく守備が良かった。選手がよく頑張ってくれました」と感想を述べました。

さわやかさん (49)

大洋冷凍(株)鳥栖冷蔵庫は昭和四十八年、曾根崎町に設立。メーカーや問屋から冷食、肉・魚介類、野菜などの冷凍食品を預かり、保管しています。社員は二十五人。私は出入庫伝票の入力や受け付けを担当。日ごろは、お客様や出入りの運転手さんと話をする機会が多いので、笑顔で応

対するよう心がけています。楽しい職場なので、結婚しても仕事は続けたいと思います。料理は肉じゃがや昆布の煮物が得意。先日、神戸の中華街の店先で肉まんやコロッケの食べ歩きをしました。鳥栖には草花が咲き誇る広い公園が欲しいですね。



大洋冷凍(株)鳥栖冷蔵庫勤務 松雪 美穂子さん (22歳、田代昌町)

第10回春の芸能祭

浅香光代さんの記念講演も

鳥栖市文化連盟では7月をテーマに、舞台部門各団体の日ごろの練習や活動の成果を発表する「第十回春の芸能祭」を開きます。

今回は、浅香光代さんの記念講演が行われます。入場料(二日間通し券、小学生以上)は前売り千円、当日千二百円。チケットは市民文化会館でお

買求めください。詳しくは、第十回春の芸能祭実行委員会(市民文化会館内・市文化連盟事務局 ☎3645)へ。

◆記念講演会
「愛と涙と闘いの軌跡、舞台裏人生」をテーマに、豪快な殺陣で人気を博す大衆演劇のスター、浅香光代さんの講演

税務

平成9年度から前納報奨金制度が変わります

前納報奨金は平成9年度から、第一期の納期内に年税額を一括して納付したときだけ「前納報奨金」が交付される

ようになりました。第二期以降に、その納期以降分を一括して納付しても報奨金は交付されません。今年の第一期の納期は次のとおりです。

▽固定資産税・都市計画税
六月二日▽普通徴収の市県民税
六月三十日▽国民健康保険税
六月三十日
なお、報奨金の額は納税通

パパ撮っつ



立石清人さんユリ子さんの長男
大樹くん
(10か月、下野町)

●パパからひと言
元気で明るく育ってね

演奏会
とき ●五月十七日(土)午後一時半
ところ ●市民文化会館ホール
◆春の芸能祭
とき ●五月十八日(日)午前十時
ところ ●市民文化会館ホール
内容 ●7月をテーマにした邦楽、音楽、ダンス、謡曲、吟詠、日舞、民舞、民謡の公演
特別企画 ●先着五百人プレゼント、お茶席、ラッキー抽選会、芸能祭ギャラリー

生活環境

轟木川の清掃にご参加を

市と市公害防止連絡協議会では、清潔で住みよいまちの実現を目指して、地域住民の方などと一緒には轟木川の清掃を毎年行っています。市民のみならずも多数ご参加ください。

とき ●五月十八日(日)午前八時四十分(雨天の場合は中止)

催し

ところ ●市役所前広場集合
内容 ●土穴橋(鳥栖工業高校南側)から船底橋(宿町・船底神社南側)までの空き缶ビンール、木くずなどゴミの回収(道具は準備しますが、川の中に入れる服装でご参加ください)

第2回何ができるかな親子スケッチ大会

親子のスケッチ大会を開きますので多数ご参加ください。
とき ●五月十一日(日)午前十時から受け付け、雨天の場合は中止
ところ ●サンメッセ前広場
対象 ●中学三年生以下の親子
持ちこてるもの ●絵具、クレヨン、画板など(画用紙は先着千人に無料配布)
問い合わせ ●財団法人鳥栖市文化振興財団(☎842121)

鳥栖の町づくりと歴史・文化講座

◆第一回講座「戦国時代の城」
とき ●五月十六日(金)午後七時~九時
ところ ●鳥栖商工会議所二階研修室

ごみ増加注意報

最近、家庭や事業所から出されるごみの量が増加しています。1人ひとりがごみを減らすよう心がけ、住みよい街をつくりましょう。

3月のごみの量

■可燃ごみ	1,477,510kg (+163,800kg/+12.47%)
■不燃ごみ	155,600kg (+6,550kg/+4.39%)
※()内は前年同月との比較	

スポーツ

参加料 ●無料
問い合わせ ●鳥栖歴史研究会
・内野武史(市教育委員会社会教育課内 ☎3695)
※今後一年間、戦国の城と城下町をテーマに十回の講座を予定しています。日程は随時市報でお知らせします。

第14回全国一斉ウォークラリー大会

ウォークラリーで家族や気の合う仲間と鳥栖の自然や街並みを再発見。健康づくりのためにも参加してみませんか。
とき ●五月十八日(日)午前八時半受け付け、同十時全国一斉スタート
ところ ●田代小学校運動場集合

参加料 ●無料
申し込み ●三~五人でチーム

友・遊とすペタンク大会

とき ●五月十日(土)午前八時半
ところ ●市民公園多目的広場
対象 ●六十歳以上の方で、一チーム三人で構成
申し込み ●五月八日までに鳥栖ペタンク協会事務局・緒方康弘(市生活環境課内 ☎3577)へ

ニョリターゲットバードゴルフ教室

羽根を付けた安全なゴルフボールをホールに入れるニョリスポーツ「ターゲットバードゴルフ」にあなただも挑戦してみませんか。対象は十八歳以上の市内居住者。参加無料。申し込みは教育委員会社会体育課(☎3522)へ。

◆午前の部

とき 五月七日から同二十八日までの毎週水曜日、午前九時半～十一時半
 ところ 市民公園芝広場（市民球場西側）

◆午後の部

とき 五月十六日から六月十三日までの毎週金曜日、午後七時～九時
 ところ 田代小学校運動場

水道

夏に備えて洗管作業

水道課では、夏に向かって水の使用量が増える前に「水あか」の流出などを防ぐため、五月九日から同二十七日までの日程で水道の洗管作業を行います。
 作業は午後十時から翌朝五時までの夜間、慎重に行いますが、やむを得ず断水や水圧低下、濁水が出るような状況

6月1日商業統計調査

六月一日、全国一斉に商業統計調査が行われます。全国のすべての商店（小売業・卸売業）が対象です。五月下旬から調査員がお伺いします。御協力をお願いします。

も考えられますので、みなさんのご協力をお願いします。

九日(金) 幸津町、儀徳町、西田町、江島町、三島町、下野町

十三日(火) 村田町、立石町、平田町、山都町、山浦町、桜ヶ丘町、原古賀町、原古賀町住宅区、西新町(西部工業団地)

十六日(金) 高田町、安楽寺町、水屋町、酒井東町(赤川地区)

二十日(火) 真木町、今泉町、藤木町、酒井西町、酒井東町、南部団地

二十三日(金) 蔵上町、養父町、古賀町、萱方町、浅井町、古賀団地、柳団地、宿町、今町、田代大官町、田代上町、田代昌町、田代新町、田代本町、加藤田町、柚比町

二十七日(火) 曾根崎町、原町、飯田町、姫方町、幡崎町、永吉町

ご存じですか

ご利用ください
よろず相談

市では、毎月第二・四水曜日二階第一会議室で「よろず相談」を開いています。相談内容などは次の表のとおりで、専門の相談員が親身になって相談をお受けします。詳しくは生活環境課(☎3576)へ。

と	き	相談内容
毎第2水曜日	9:30~15:30	行政、人権、心配ごと
	10:00~15:00	交通事故
	13:00~15:30	法律
毎第4水曜日	10:00~15:00	交通事故
	13:00~15:30	法律、土地建物

※法律相談は事前に予約が必要です

薬や医学に関する資料を

中富記念くすり博物館では、田代売薬を中心に薬や医学に関する資料を収集しています。これらの資料は、本誌「消えゆく民具(売薬用具編)」でも紹介していますが、資料のほとんどは廃棄され、貴重な文化遺産が消え去ろうとしています。

もし、売薬道具や文書をお持ちの方や売薬行商を廃業される方は、資料の寄贈をお願いします。また、一般の家庭でも、薬の処方や配置帳の断片などが出てきましたら、ご一報ください。詳しくは、同

募集

館・山下(☎33334)へ。

児童センターの児童厚生員

市社会福祉協議会では児童センターで幼児とその母親を対象にしたリズム遊びの指導などをする児童厚生員一人を募集します。

資格 幼稚園や小学校の教諭免許または保母免許を持つ四十歳以上の方

勤務条件 週五日四十時間勤務、賃金は市の臨時嘱託給に準じます

申し込み 五月十六日までに履歴書を社会福祉会館(☎3616)へ

鳥栖やまびこ対馬研修団リーダー・実行委員

鳥栖やまびこ研修団では、青少年育成と研修地の人々との友好を目的に、八月七日(木)から九日(土)までの二泊三日で、長い歴史を持ち、鳥栖とのつながりも深い「対馬」に少年少女を派遣します。今回、一般団員の募集を前に高校生以上のリーダー・実行委員を募集します。

詳しくは鳥栖やまびこ研修団事務局・居石隆(古賀町☎36152)へ。

ホームステイの受け入れ家庭

地球市民の会では、韓国、台湾、英国など約二十か国の在日留学生や日本語を話せる外国人大学生など約百人の受け入れ家庭を募集しています。受け入れ期間 七月十三日(日)から同二十七日(日)までの二週間

詳しくは鳥栖地球市民の会・原康彦(鎗田町☎4049)へ。

「鳥栖地球市民の会」会員

ホームステイや奨学金提供、海外派遣事業などの国際交流、地域づくりなどを積極的に行うため、鳥栖地球市民の会(会長・原八郎)を発足し、現在、会員を募集しています。

問い合わせは、鳥栖地球市民の会・原康彦(鎗田町☎4049)へ。

県営住宅入居者

鳥栖土木事務所では、県営住宅の入居申し込みを随時受け付けています。三月末の空き家状況は次のとおり。詳しくは同事務所建築課(☎34176)へ。

◆宿町 一種十七戸 2DK・3LDK、二種一戸 2DK▽

鳥栖南部 一種十二戸 3DK・3LK▽鎗田 二種一戸 2DK▽神辺 一種一戸 2LK▽古賀 一種二戸 3K・3DK

福祉

市社協会員と赤十字社員にご協力を

市社会福祉協議会(市社協)では、だれもが安心して暮らせるまちを目指してボランティア活動の支援、ホームヘルプサービスといった福祉サービスの実施など地域福祉活動を行っています。

また、赤十字社は災害被災者の救護をはじめ、医療活動や血液事業、看護婦の養成など、私たちの身近なところでさまざまな活動をしています。

今年も各町区の区長さんを通じて、市社協の会費を一般会員(一世帯当たり二百五十円)と特別会員(一口二千円・何口でも可)をお願いしています。また、日赤社員(三百五十円)と日赤特別社員(一万円以上)を募集しています。

ご理解のうえ、ご協力をお願いします。

詳しくは市社会福祉協議会(☎3555)へ。

■ 国税専門官(大卒程度)募集

第1次試験は6月21日(土)・22日(日)。受験資格は大学卒業程度の学力を持つ昭和45年4月2日から同51年4月1日までに生まれた者。願書の受け付けは5月6日から13日まで。申し込み方法など詳しくは、鳥栖税務署(☎02185)へ。

■ 青年海外協力隊員募集説明会

5月20日(火)午後6時半～9時、はがくれ荘(JR佐賀駅南徒歩3分)。派遣システムや待遇などの説明のほか、協力隊広報映画、OB隊員の体験発表があります。詳しくは、佐賀県国際交流課(☎095227004)へ。

■ 日中友好・趙国良と北京中央音楽院オーケストラ

5月8日(木)午後7時、市民文化会館。日本、中国をはじめ世界の名曲を、胡弓のほか中国伝統楽器で演奏。美しいメロディーの教々をお楽しみください。入場料2,500円。市内プレイガイドで発売中。詳しくは趙国良鳥栖後援会(鳥栖新聞事務局内☎09527470)へ。

■ 子ども劇場例会「ズッコケ三人組」

5月22日(木)午後6時半、多目的ホール(市民体育館南側)。人形劇団ひとみ座による「ズッコケ三人組」。会員制で入会金200円、月会費1,000円(4歳以上)。当日入会もできます。詳しくは鳥栖子ども劇場(☎09527415)へ。

■ さわやかバドミントンコスモスクラブ会員募集

バドミントンに興味のある家庭婦人の方、爽快にスマッシュを決め、さわやかな汗を流してみませんか。初心者歓迎。練習は火曜日、木曜日の午前中、市民体育館ステージ側コート。詳しくは林紀代子(布津原町☎0952188)へ。

5月8日午前11時から

河内ダム流域(大木川)で警報訓練を実施



市では、梅雨期の豪雨に備えて、河内ダム管理の万全を図るため、五月八日(木)午前十一時から約十五分間、サイレン・スピーカー放送(疑似音)の警報訓練を河内ダム管理事務所と大木川流域の五か所の警報局で行います。

訓練の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。なお、訓練ですので、ダムと河川の流量に変化はありません。問い合わせは耕地課耕地係(☎0952365)へ。

市立図書館

ニューメディアコーナー新設

長い間、ばく書休館で利用者みなさんには大変ご迷惑をおかけしました。

さて、市立図書館では本年度から新たにニューメディアコーナーを新設。今話題のインターネット体験用パソコンとCD-ROM検索用パソコンを各一台を置いていきます。

また、読みたい本を探す利用者図書検索機を二台から三台に増やし、カウンターの前に

長い間、ばく書休館で利用者みなさんには大変ご迷惑をおかけしました。

さて、市立図書館では本年度から新たにニューメディアコーナーを新設。今話題のインターネット体験用パソコンとCD-ROM検索用パソコンを各一台を置いていきます。

また、読みたい本を探す利用者図書検索機を二台から三台に増やし、カウンターの前に

このほか、本棚を増やして美術全集などの大型の本なども充実させています。

これからも市民の本棚として家族そろって市立図書館をご利用ください。

詳しくは同図書館(☎0952630)へ。

自動車税の納付は6月2日までに

自動車税の納税通知書は五月十二日ごろ郵送されます。

六月二日までに忘れず納めましょう。口座振替をご利用の方は残高不足にご注意ください。

自動車税を納付したときは、納税通知書の右片が「納税証明書」になりますので、車検証と一緒に大切に保管してください(口座振替利用の方は後日納税証明書を交付)。

問い合わせは佐賀県税務事務所(☎09523161)。

高齢者就職情報

公共職業安定所が開設する

高齢者就職相談室では、高齢者への職業紹介や雇用相談などを行っています。現在、企業から次のような求人申し込みがあつていきます。

詳しい仕事の内容や労働条件などは同相談室(市役所市民課横☎3556)へお問い合わせください。

◎物流係(西新町)：男50～60歳、14万9千520円

◎自転車組立(轟木町)：50～60歳、15万～20万円

◎調理補助(神辺町)：女55～65歳、時給700円

◎血洗い(東脊振村)：女20～60歳、10万1000円

◎ハウス内作業(中原町)：性別不問40～60歳、時給680～800円

◎調理(神辺町)：性別不問18～60歳、15万～20万円

ガッツ
Guts
サガン鳥栖
PK制し白星スタート

97JFL(ジャパン・フットボールリーグ)が四月二十日(日)開幕し、サガン鳥栖は午後一時から鳥栖スタジアムでデンソーと対戦。両チームとも決定力に欠き、得点を奪えないままPK戦までもつれ込みました。PK戦では、新守護神となったGK高嵩が立て続けに二本のシュートを止め、確実に決めたサガンが苦しみながらも、うれしい初勝利。勝ち点1を上げました(昨年までは勝ち点3でしたが、今年からルール改正で、前後半の九十分間で勝った場合が勝ち点3、延長戦では勝ち点2、PK戦は勝ち点1になっています)。試合終了後のインタビューで楚輪監督は「満足できる試合ではなかったがとにかく勝ったということに意味がある。途中何度か大きなチャンスがあったが、結果的に点に結びつかなかった。選手はもっと1点の重みを理解して、どんな形であってもいいからゴールに押し込む姿勢がほしい」と話しました。また、観客数が三千三百三十五人とどまったことに対して「これからもチームが勝つて見に来てもらおうようにしないと。ただ、サポーターのみなさん



試合後、サポーターにあいさつする選手たち

が選手をうまくさせていく。ぜひ、応援に来てほしい」とサポーターへメッセージを送りました。

勝利の立役者となったGK高嵩選手は「PK戦では一本目のシュートを止めれば波に乗れると思う、一本目に集めたのがよかった。試合では、まだディフェンスとの連携での細かいミスなど反省する材料が多く、これから直していきたい」と次の試合に向けて気を引き締めていました。

サガン鳥栖の五月のホームゲームは、下の表のとおりです。詳しくはサガン鳥栖FC事務所(佐賀市空0952-25830 FAX 28718)へ。

日	時	対戦チーム	会場
4日(日)	13:00	福島FC	鳥栖スタジアム
15日(木)	19:00	ジャトコFC	県総合運動場
25日(日)	14:00	大分トリニティ	鳥栖スタジアム

中世山城と筑紫氏

関ヶ原以後 その三

すでに見てきたように関ヶ原合戦後、広門以下筑紫家臣は加藤清正の世話になり、しばらく肥後に滞在します。その後広門は、柳川筑紫家に伝えられた『家系弁傳記』の一説によれば、清正死後細川忠興に迎えられ、豊前小倉にて没したと記されています。

記録ではこの間のことはかなり曖昧で、同時に「剃髮後、夢庵と号し彼地(肥後)で逝去す」とも記されています。広門の没年は、元和九年(一六二三)で、実は豊前小倉で死去したか、肥後熊本で死

去したかによって、筑紫家臣団の動向がかなり異なったものとなります。

加藤家に召し抱えられた筑紫家臣団は、その後分散し例えは「筑紫四郎衛門」は筑前黒田藩の家臣となっています。このことは広門の死が豊前小倉であれば、清正の死を契機に広門自身細川に移っていることから、家臣もそれに伴って分散したことが考えられます。一方、肥後熊本での死であれば、引き続き家臣は加藤家改易まで加藤家に属していたものと思われま



細川忠興の豊前小倉城(毎日新聞社刊、『城』九州・沖縄編より)

す。この間の事情については今後の解明を待つほかはありませんが、いざれにしても加藤家において結束していた筑紫家臣団は、その後バラバラに分散していきます。改易された大名家の悲劇といえましょう。



生薬を刻む片手切り(中富記念くすり博物館蔵)

片手切りは「片手盤」とも呼ばれ、生薬(薬草)を刻む道具として使われます。木と鋼で出来ており、写真の片手切りの大きさは幅

二四センチ、長さ八〇センチ、高さ三三センチです。

支柱部分、台の部分と包丁の部分から成っており、台部分は円柱形をしています。支柱部分に包丁の先端を差し込み、テコの原理を使って生薬を刻んでいきます。

写真の台は台形状にギザギザに削られています。これは、包丁を使っていくうちに台部が筋状に削れていくので、削れすぎたら台部を支柱を中心に少し回転させて使

い、また削れすぎたらさらに回転させるといった具合に使用したため、このような形状になっています。また、包丁の部分は、硬い生薬を刻むなどしていくうちに刃が欠け、研いで使用していったため、よく使用する部分だけがへこんでいます。

このように、昔の製薬道具は、経験に裏打ちされた知恵と「もの」を大切にするという気持ちを私たちに教えてくれます。

消えゆく民具 【売薬用具編】

VOL.87 ●片手切り

今なお慕われる賀島兵介公

賀島兵介公を供養する賀島

祭は毎年命日にあたる四月九日、太田山安生寺(田代本町)境内で開かれています。先月も関係者が出席してしめやかに行われました。没後三百年を経た今でも慕われる賀島兵介とは、どんな人物だったのでしようか。

んどは農業を営んでいました。

基肄養父実記によれば、農家は五人家族で四、五十疇の田畑が必要なのに、家族六、七人で二、三十疇しか持たない状況でした。不作が続いた時などは、飯米がなくなると未熟な麦を刈って食べたり、米麦をはじめ粟・稗・そばの種まで食べてしまうほどで、兵介は一切の種を庄屋が預かるようにさせました。また、老人や病人をいたわり、飢えた領民にしばしば飯米を支給しています。それでも貧困に耐えられず長崎などへ出稼ぎに行く人もいたので、それでは農業がおろそかになると出稼ぎを禁じます。

襲水害地帯。これらの災害に對し、代官所は河川の修理やため池の築堤などを行っていません。しかし、当時の技術と人力では微力で、凶作の後の救援米や病気の治療に追われていたようです。

はもちろん、接待にも出ません。領内を巡回する時も湯茶と菓子に留めています。代官所へは毎日午前八時ごろ出勤し、朝夕の食事もそこで済ませ、病気の時は仕事場の表座に伏して役人の報告を聞き、指示を出しました。家では時々槍を使い軍法を学ぶほかは在任中、川狩りや野遊びに出たことは一度もありません。代官所の役人もこのような兵介にならぬ、酒、たばこをたしなむ人はいませんでした。

賀島兵介成白は、正保二年(一六四五)、現在の対馬厳原町生まれ。延宝三年(一六七五)三十歳の時、田代代官所副代官として着任しました。対馬藩田代領は現在の鳥栖市のおよそ東半分と基山町。いわゆる基肄養父で石高一万三千石、人口約一万二千人。ほと

うは農業が中心で、領民の生活に深く関わっていました。兵介は最も心を痛めその解消に力をいれたのは、領民の借金・借米の処理。兵介はまず、領内の借主一家の人数や田畑の面積、借金・借米の額と返済期限などを調べさせ、貸主や保証人の印を押した台帳を作らせた。千六百五人が四百九十五人から銀一三七〇貫、米七二七六俵を借りていました。それ以後、庄屋や町役の許可なしには余分の借金・借米をさせないよう厳しく管理。その結果、元金、利子のすべてを六年間で返済させています。

また兵介は植林政策にも力をいれ、民有林のほか公有林を設け、その数は二百七十三か所、植林は九百二十五か所に及びました。

このように領民に人の道を説き、厳しい儉約を強いた兵介は自分にも厳格でした。領内から進物を一切受けないの

着任後五年が過ぎたころ、兵介を慕う領民から二度の留任願いが出されたため、通常は三、四年の任期に対し、彼の在任は十年余りに及んでいます。

参考「栖17号」



賀島兵介公の肖像画

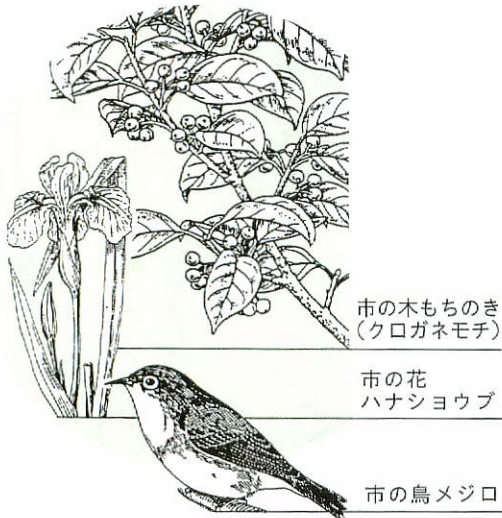
貧困の大きな原因は、干害や風水害などそれに伴う病気の発生でした。ことに筑後川沿いの平年作は五年に一度という常

な原因は、干害や風水害などそれに伴う病気の発生でした。ことに筑後川沿いの平年作は五年に一度という常

DISCOVER TOSU

ふるさと再発見

vol. 20



市の木もちのき(クログネモチ)

市の花ハナシヨウブ

市の鳥メジロ

平成9年4月1日現在			
人口	男	女	世帯数
57,285(-33)	27,500(-47)	29,785(+14)	18,579(-30)

5月の納税
固定資産税(1期分) 納期限●6月2日
 (口座振替は5月30日)

水道の修繕
 鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500
 ●水道の修繕はすべて上記へお申し込みください